## 令和3年度 第1回江南市国民健康保険運営協議会 会議録

- 日 時 令和3年7月8日(木) 午後2時~午後3時30分
- 場 所 江南市役所 本庁舎3階 第3委員会室
- 出席者 出席委員11名

被保険者代表 大竹典子 西川よし子 原 朋子 佐藤 昇

 療養取扱機関代表
 村瀬範高
 近藤茂樹
 松浦直人

 公益代表
 服部正三郎
 古田嘉且
 江口 敷

被用者保険等保険者代表 宮地 誠

欠席委員 2名

療養取扱機関代表 渡部敬俊 公益代表 今井敦六

傍聴者数 0名

- 議 題 1 議事録署名者の選出
  - 2 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免について
  - 3 報告事項
    - ・江南市国民健康保険の状況について
    - ・江南市国民健康保険事業計画について
  - 4 その他

【1.議事録署名者の選出】

【2. 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免について】

会長

「新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき説明)

会長

事務局から説明がありました、ただいまの説明内容につきまして、ご質問・ご意見はありますでしょうか。

会長

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による減免額は全額国の負担、今年度は国が10分の6、市が10分の4を負担するということですが、市は金額としてはどれくらいの負担を見積もっていますか。

事務局

現時点では、予算額的なものは、見込みを立てておりません。

昨年度は、令和元年中と令和2年中の収入の比較で3割以上減少する方を対象としていましたが、今年度は、令和2年から更に3割下がるということが、減免の対象になりますので、対象者が多くいらっしゃるのかどうかは把握できませんが、今回の減免の仕組みでは、令和2年度より、対象者はかなり減るのではないかと考えております。

会長

感覚的には、昨年度の実績が、約200件の申請で約3,500万円減免した ということになると、かなりの額になっていると感じますが、今年度は、 そこまでの予想はしていないということですね。

会長

皆さん、他にご意見はいかがでしょうか。

委員

減免の対象が、令和2年の収入が元年度より減少し、それより更に、今年がまた10分の3減少になる人だということを考えると、収入の減少が続いていても、申請はできないこともあるということですね。

事務局

令和3年中の収入見込みが、令和元年中と比べて3割減少したということでは、減免の対象ではありません。令和2年中の収入と、令和3年中の 見込みの比較をしますので、令和元年中より収入が下がっていたとしても 令和2年から3年において収入が横ばいですと、対象にはなりません。

委員

聞いていて、なかなか厳しいなと思いました。

会長

他の委員さん、ご意見はございますでしょうか。

委員

減免により保険税収入が減ったと説明がありましたが、一方で昨年度は、 全体の話として、医療費が減っている状況です。

協会けんぽも、1人当たりの医療費が、毎年だいたい2、3%ぐらい拡大していたのが、今回初めて前年度を下回り、皆さんも新聞で読まれたかもしれませんが、過去最高の黒字を記録しました。

そうなると、昨年度減免されましたが、同様に支出が減り、収支として 好転しているなら、今年度、再度減免を実施するとしても、一般会計から 繰り入れる必要はないのではないでしょうか。

全体では、累積という考えもございますが、保険財政の健全化ということからすると、できるだけ保険の財政だけで賄うような、他の会計から持ち出しがないような方向というのもあるのではないかなと感じました。

事務局

国民健康保険に係る負担を、一般会計から繰入するという、全く別の財 布から出すという提案をしているものですから、それについてのご意見だ ったと思います。

実際のところ、医療費が下がっているのは事実でございます。

医療給付という意味では、財政が県単位化になっており、そこを考慮して愛知県が各市町村の納付金を設定しております。

その納付金が下がれば、市の財政もある程度楽になりますので、保険税が 今ある余力のなかで負担できるということがあるのですが、今後、納付金 が上がるということを想定しておりますので、税率の改定、税率の引き上 げを目指していこうとする考えがございます。

そこで、税率の引き上げと激変を緩和するために、国民健康保険事業基金というものがあり、今はその基金を順番に活用していきたいと考えております。

そのため、今回に関しては、減免の財源不足分を一般会計から補てんして対処していきたいと考えております。

基金については、次の納付金が引きあがっていくところに充てていくイメージを持っておりますが、うまく伝わりましたでしょうか。

委員

分かりづらいですが、市の苦しいような事情は、理解できました。

事務局

一般会計からの繰り入れに頼らず、国保内の浮いた分で何とかならないかというご意見だと思いますが、浮いた分というのを、愛知県全体で財政 運営しておりますので、江南市が独自に使うことができないのが、苦しい ところでございます。

委員

よく分かりました。

会長

要するに、今までは財政運営が市単位であったわけですから、江南市だけの判断で、いろんなことができたのが、単位が県全体になったことによって、市の判断を最優先するが、それだけでは、勝手に決めることはできない、ということですね。

事務局

大枠でみると、そのとおりです。現在は、愛知県に納付金を納めなければいけません。そのお金をどうやって確保するかということが、大前提にありますので、納付金が引き上がれば、保険税を上げざるを得ない状況もありますし、医療費が下がったということで納付金が下がれば、こちらもその分は運営できますが、今ある状況を各市町村で考えようとすると、コロナ減免の減額分を、一般財源に頼らざるを得ないという状況だということでございます。

## 【3.報告事項】

会長

「江南市国民健康保険の状況について」、事務局より説明をお願いします。

(資料に基づき説明)

会長

事務局の方から説明がございました。ただいまの説明内容につきまして、 ご質問・ご意見はございますでしょうか。 会長

被保険者数は、平成27年度から比べると約6千人減少している中で、収納率は、平成29年度が93.8%、令和2年度が93.9%と、そんなに変わっていません。しかしながら、滞納金額は半分ぐらいに激減していますが、これはどういうことでしょうか。

事務局

理由といたしましては、一つ目は、収納課で徴収や滞納の整理を行って おりますが、財産調査などを積極的に行い、生活に支障のない範囲で財産 の差し押さえ等を実施している状況があります。

二つ目は、過去5年間納付もなく、徴収ができないことが明らかであるなどに限り、不納欠損という調定額をなくす処理がありますが、平成29年度あたりから江南市でも積極的に欠損処理を実施してきたということが、大きな理由だと考えられます。

会長

過去は、欠損処理をしていなかったので、そのままであったが、市が処理をして、滞納金額を少なくしたということですね。

いつも言われることですが、きちんと納めている方が、いかがなものかという気持ちにならないようにお願いしたいなと思います。

事務局

分割納付をやっている間は、不納欠損処理というのはできないものですから、収納課が納付相談をやりながら徴収を続けていますが、その中で、財産の差し押さえ等を実施しつつ、どうしても納付が見込めない場合は欠損処理という判断をしているものと考えております。

会長

他に何かよろしいでしょうか。

それでは、ご意見もございませんようですので、続きまして、「江南市国 民健康保険事業計画について」、事務局から説明をお願いします。

(資料に基づき説明)

会長

事務局の方から説明がございましたが、ただいまの説明内容につきまして、ご質問・ご意見はございますでしょうか。

委員

特定健診の受診率の向上に関して外部委託を行うということでしたが、 外部委託とはどういうことでしょうか。 事務局

被保険者が医療機関で受診されますと、レセプトという診療情報が市のほうに来ます。そのレセプト情報を分析して、個人個人の特性にあった内容で、「健診を受けてください」という、勧奨をすることを考えておりまして、その分析を外部に委託しようということでございます。

国が推進しておりますことから、国の補助金を使って、分析をするという内容です。

会長

国保制度自体や会計も、分かりにくいところがありますので、事業計画 については、家で読んでいただき、分からないことがあれば事務局までお 問い合わせいただければと思います。

それでは、最後、「その他」ですが、事務局から何かありますか。

## 【4. その他】

事務局

今後の、運営協議会の開催予定について、ご案内をさせていただきます。 今年度は税率改定がありませんが、来年度に向けて、県が示してくる納 付金の状況によっては、税率を上げざるを得ない状況もございます。

次回以降は、そうしたことのご協議をいただきたいと思っており、11月 と1月に、運営協議会の開催を予定しております。以上でございます。

会長

以上を持ちまして、国民健康保険運営協議会を閉会します、皆さんご協力ありがとうございました。

《令和3年度 第1回 江南市国民健康保険運営協議会 終了》